

令和3年 2月 15日

## 1 住所・氏名等

住所所在地	南九州市穎娃町牧之内2830	氏名	株式会社 □□□□□	代表取締役	△△ △△
-------	----------------	----	------------	-------	-------

## 2 収入の減少の状況等

	項目	令和2年(当年)			前年同月			収入減少率 1-(③÷⑥) 1-(④÷⑦) 1-(⑤÷⑧) のうち最大のものを記載
		10月	11月	12月	10月	11月	12月	
収入	売上	3,612,477	2,977,865	2,850,918	2,293,453	5,009,821	3,089,121	41 %
	小計	③ 3,612,477	④ 2,977,865	⑤ 2,850,918	⑥ 2,293,453	⑦ 5,009,821	⑧ 3,089,121	
支出	仕入れ	2,597,892	2,203,484	2,189,075	3,312,381	3,569,345	2,157,831	支出平均額 (⑨+⑩+⑪) ÷記入月数  ⑫ 3,160,520 円
	販売費・一般管理費	621,931	511,192	407,987	667,123	690,812	413,125	
	借入金返済	200,000	0	0	250,000	250,000	250,000	
	生活費	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	
	小計	⑨ 3,669,823	⑩ 2,964,676	⑪ 2,847,062	4,479,504	4,760,157	3,070,956	

(注) 売上などを「収入」に、仕入、販売管理費/一般管理費、借入金返済などを「支出」に記入ください。なお、減価償却費など、実際に支払を伴わない費用などは「支出」に該当しません。また、申請者が法人の場合は、生活費は「支出」に該当しません。

※職員記入欄 □ 事業収入の減少等の事実があることを証する書類(売上帳、給与明細、預金通帳等) □ 聴取

税理士署名押印	印	電話番号	税理士法第30条の書面提出有
		□	

## (1) 当面の運転資金等の状況等

当面の運転資金等 (⑫×6(6か月分))	1,896,120 円	+	今後6か月間に予定されている臨時支出等の額	300,000 円	
			=	当面の支出見込額(⑬)	19,263,120 円

## (2) 現金・預貯金残高

※職員記入欄 □ 一時納付・納入が困難であることを証する書類(預金通帳、現金出納帳等) □ 聴取

	金額		金額	現金・預貯金の合計(⑭)	2,145,463 円
現金	200,000 円	預貯金	1,945,463 円		

## (3) 納付可能金額

⑭(現金・預貯金残高) - ⑬(当面の支出見込額) = 納付可能金額(⑮) 0 円  
(マイナスの場合は0)

## (4) 猶予を受けようとする金額

(①+②)納付・納入すべき税		(⑮)納付可能金額		猶予額
100,000 円	-	0 円	=	100,000 円